

平成 26 年 9 月
日本アルコール販売株式会社

中期 5 年ビジョン策定に関するお知らせ

当社は、平成 26 年度から平成 30 年度までの中期経営ビジョンを策定しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

アルコール産業は、完全自由化以来の競争がますます激化するなかで、大幅な円安の進展等による原料価格の上昇・高止まりが懸念されるなど、引き続き、厳しい事業環境が続くものと考えられます。かかる状況下で、新たに中期 5 年ビジョンを策定し、グループ各社のベクトルを揃え、強靱な事業運営に取り組んでまいります。

記

I. 基本方針

アルコール部門においては、ご利用いただいておりますお客さまに対し、安全で安心な商品の安定供給に努めることを最重点目標と位置づけ、取り組んでまいります。

また、工業薬品部門、アルコール製剤（食品添加剤）部門におきまして、お客さまのニーズに対応した積極的な事業展開に取り組んでまいります。

II. 主要施策

1. アルコールの安定供給基盤の強化

1-1 発酵アルコール ～ 継続取引先に対する安定供給の強化 ～

原価の上昇を抑制しつつ、安全で安心な商品の安定供給に努めます。

(1) 原料調達の安定化

原料アルコールについて、商社及び日伯エタノール㈱と連携し、安定的かつ安価な調達に努めます。

(2) 製造コストの削減と設備更新

工場毎の製造コストについて不断の検証を行うとともに、製造設備の計画的更新に取り組み、安定的かつ低廉な供給を目指します。

(3) 品質管理の向上とおいたち管理の徹底

発酵アルコールについて、GMP 基準の導入を図るとともに、工場出荷からお届けまでの管理手法を強化し、お客さまごとの品質保証を徹底します。

(4) 最高品質の物流体制の構築

以下の方策を確実に実行することにより、物流品質の向上を図ります。

- ・車両勢力の拡充（新造 15 台・載換 30 台）
- ・震災時における車両動態管理システムの導入
- ・危険物小口貨物輸送の自社独自ルートの確立
- ・新船建造による海上輸送品質の向上（概算 8 億円程度を予定）

1-2 合成アルコール ～ 設備更新による供給力の整備 ～

日本合成アルコール㈱が、新たにグループ会社となったことを踏まえ、合成アルコールの安定供給体制の強化に努めます。

(1) SCM の強化

グループ一体となり、工場操業の安定化、移送・在庫管理の効率化を進め、安定供給体制を確立します。また、BCP の観点から東西の保管庫の有効利用を進め、緊急時における供給の確保を図ります。

(2) 5 年計画による設備更新

計画的な設備の更新・改修により安定した供給基盤を整備します。

（投資総額は 10 億円を予定）

2. 工業薬品、アルコール製剤（食品添加剤）部門における事業展開の強化

(1) カセイヒン

営業面、仕入れ面での新たな取組みを展開するとともに、製造管理の高度化、設備稼働率の向上に取り組めます。

(2) アルコール製剤（食品添加剤）

商品提案力を強化し、新規開発品、OEM での拡販に取り組めます。また、品質管理の強化と生産性の改善を図ります。

(3) 手指消毒剤

BCP の一環としての備蓄需要の掘り起こしと販売店の育成による拡販に取り組めます。

(4) 発酵製品他

製品の特性に応じたマーケティングを積極的に展開することにより、市場への浸透、拡販を目指します。

3. 人材力の強化

グループの将来を担う人材の育成を主眼とし、グループ横断の各種研修を充実させるとともに、グループ人事交流による人材活用を図ります。若年層の活躍を促進するとともに、執行役員制度の創設により、業務執行力の強化を図ります。

4. 震災対策の強化

首都直下型地震、東海地震の発生を想定し、お客さまへの安定供給を確保するためのBCPの観点から、震災対策の強化に取り組みます。

5. 配当方針

| | |
|--|---------------|
| 日本アルコール販売(株) 信和アルコール産業(株) | 1割配当を継続 |
| 日本アルコール産業(株) | 当計画期間中の配当開始 |
| 日本合成アルコール(株) 日本アルコール物流(株) アルコール海運倉庫(株) | 当計画期間内では配当見送り |

Ⅲ. 中期経営目標（連結ベース）

| | 平成30年度目標 |
|--------|----------|
| 連結売上高 | 500億円以上 |
| 連結営業利益 | 20億円以上 |

以上